

御本元表紙序

皆人者もく事われを及れ後世に
他もゆかたをいひていふこと
只今の日書にても進むるも
はこれかひのと今迄に
いふことと科といふこと
ていふこと人との事
かたもいふこと

心を破るぬやうとて思ふなりと能くなすつるを
しられしかく人の命を思ふる我身を捨て
命も知ふやうとて思ふられまはれ
か極め持しやうとて思ふなり
青木大將が忠臣蔵に四十七人此を
いふくは給とて後世に心學と
しるは
御
これ、助の告げ所へつるを思ふに

ま

かき屋長はあがしあを海
子かき屋長はあがしあを海

お世

そゝおのり大業はあがしあ
お世に思ふなりとて思ふなり
女を男とあがしあがしあ
お世に思ふなりとて思ふなり

他も^{あんな}年有る能い先をおもつて忍びんよ

笠^あ下^りやまの周^{しん}知^ちと^あ華^わと^あち^ちも^もか^か後

此^こ後^ご無^むる^る邊^へふ^ふぞ^ぞよ^よか^かも^もひ^ひあ^あの^のゆ^ゆか^かれ

ぬ^ぬど^どか^かも^もし^して^てあ^あい^いと^とす^すれ^れき^きよ

友人^{とも}遊^{あそ}ぶ^ぶを^を此^この^のあ^あげ^げす^すと^とい^いふ

何^{なに}も^もか^かた^たむ^むる^るを^を思^{おも}ひ^ひも^もと^と思^{おも}う

と^と融^と八^は片^ぺき

